

10. 研究発表会

日 時：令和6年3月1日（金） 09:00～17:00

場 所：滋賀県水産試験場 2階会議室

[午 前 の 部：9時～12時]

・開 会

・挨拶 水産試験場長 酒井明久

・研究発表（発表12分、質疑3分）

1. ホンモロコの資源状況について

根本守仁

2. 2023年の山本川におけるホンモロコ産卵状況と親魚の動態

寺井章人

3. 2023年の南湖におけるホンモロコの産卵および親魚の接岸状況

片岡佳孝

4. 3水域に放流したニゴロブナ稚魚の追跡調査

杉江天音

休 憩

5. 真珠母貝稚貝を「簡単」に「多数」育成する方法の検討

佐野聡哉

6. 2023年度セタシジミ資源概況調査結果について

孝橋賢一

7. 精密な十字放流でわかったセタシジミ稚貝の分散

井戸本純一

8. 琵琶湖における外来魚駆除事業および研究の変遷

山本充孝

9. 滋賀県におけるチャネルキャットフィッシュの生息状況と今後の対策

石崎大介

[午 後 の 部：13時～17時]

10. 湖底耕耘による植物プランクトン休眠細胞利用可能性の検証

大山明彦

11. 夏季における船上での漁獲物取扱実態

臼杵崇広

12. スジエビ漁況の早期予測技術開発に向けた指標値候補の探索

大前信輔

13. 2024年1月以降のアユ不漁状況について

佐々木賀治

休 憩

14. 生活史初期の耳石輪紋間隔を利用したアユ孵化時期推定手法の開発

尾崎友輔

15. アユのスレ症研究からわかってきた塩水浴の効果的な使い方

菅原和宏

16. 放流アマゴの残存率に対するスモルト化の影響

幡野真隆

17. 採卵時期を遅らせることによるパー系アマゴの作出

吉岡 剛

休 憩

・全体質疑 座長 鈴木隆夫

・講 評 水産試験場次長 井出充彦

・閉 会